小学問題集コア
詳細はここをクリック！

1

物語文①

場面の様子　学校生活

斗馬と結花が、春休みをどのようにすごしていたのかを読み取ろう。

音読

学習サポートへの二次元コードが入ります

二度読み ① 読んでみよう

著作権保護のため、不掲載としています。

15　10　5

まとめ　□に当てはまる言葉を書きぬきなさい。

1 この文章には、「いつ」の、「どこ」での場面がえがかれていますか。

・いつ…□が終わった直後の日。

・どこ…教室

2 この文章には、どのような人物が登場しますか。

・「おれ」＝(あ)□

・安藤(い)□

新六年生

・ゆかり先生

3 たじろぐことなく立ち上がり、教室の前に出たとありますが、結花は、どういうことを話しましたか。

(あ)□に(い)□をしたこと。

くわしく言うと

・だれと…(う)□とお兄ちゃんとの四人

●滋賀県と琵琶湖

琵琶湖
滋賀県の中央にある湖。
面積（めんせき）は 670 km² で日本最大（さいだい）。
1 周およそ 200 km。

ていたっけ？

（横山充男（よこやまみつお）「ビワイチ！」より）

30　25　20

・日数…　㋓ 泊 ㋔ 日

・感想…何度もやめたくなるくらい ㋕ だったが、完走できたときは ㋖ した。

4 ビワイチ[2]とは、なんですか。

㋐ 県の子どもなら、いちどは挑戦すべき、㋑ での ㋒ 一周のこと。

5 春休みに何をしていたか[3]とありますが、斗馬は、春休みを毎日どのようにすごしていましたか。

㋐ 時ごろ起きる。
← アニメを見ながら朝食。
← ㋑ をする。
← 昼食を食べる。
＝ ㋒ とすごしていた。

二度読み ②

解いてみよう

20　15　10　5

登場人物、季節、場所、行動など、場面の様子をおさえて問題を解こう。

1

線①「春休みにどうすごしたかを発表することになった」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

(1) このとき、斗馬はどのような気持ちになりましたか。次の文の□に当てはまる言葉を、文章中から書きぬきなさい。

これといって何もしていないし、何をしていたかほとんどおぼえていないので、ちょっと□。

(2) 結花はだれと何をしたことを話しましたか。文章中の言葉を使って、二十字以内で書きなさい。

(3) (2)のことについて、結花はどのような感想を話しましたか。次の中から選びなさい。

ア　思っていたより楽だったので安心した。
イ　大変だったけれど、完走したら感動した。
ウ　最初は楽だったが、最後はやめたくなった。
エ　大変だったので、もうやりたくないと思った。

ていたっけ？

（横山充男（よこやまみつお）「ビワイチ！」より）

。

30　25

おさえよう

場面のとらえ方

① **登場人物をおさえる**

・登場人物について語られていること（名前・年齢（ねんれい）など）や、人物どうしの関係（かんけい）をおさえる。

② **時間や場所などをおさえる**

・季節や時間、場所を表す言葉に注意して、設定（せってい）をおさえる。

③ **出来事や行動をおさえる**

・何が起こったのか、人物が何をしたのかをおさえる。

2 斗馬と結花は同じ学年ですが、何年生ですか。次の中から選びなさい。

ア 三年生
イ 四年生
ウ 五年生
エ 六年生

3 斗馬と結花はどこに住んでいますか。文章中から三字で書きぬきなさい。

4 ―線②「ビワイチ」とは、何をすることですか。次の〔　〕に当てはまる言葉を、文章中から書きぬきなさい。

〔　　〕こと。

5 ―線③「春休みに何をしていたか」とありますが、斗馬は、春休みを毎日どのようにすごしていましたか。次の文の□に当てはまる言葉を、文章中から書きぬきなさい。

毎日、□とすごしていた。

練習しよう

「ぼく」たちが何をしているのかをおさえて、場面の様子を読み取ろう。

四年生の「ぼく」は、親元をはなれて「山村留学センター」でくらし、そのとなりの空高小学校に通っている。空高小学校の全校児童数は十七人で、そのうち十三人が、「ぼく」や同級生の沙也、五年生のゆりのような、山村留学の子どもたちである。

▲のこぎりで丸太を切る

▲縄をなう

1 この文章は、何が行われている場面ですか。文章中から三字で書きぬきなさい。

2 ―線①「きこり物語」、―線②「縄ない競争」とは、どのような競技ですか。それが説明されている一文の初めの五字を、それぞれ書きぬきなさい。

・きこり物語…

・縄ない競争…

3 ―線③「親や集落の人たちを総動員しないと間がもたない」とありますが、出場した人と種目をまとめた次の表の❶～❹に当てはまる人の名前を、後からそれぞれ選びなさい。

	親	集落の人
きこり物語	❶	❷
縄ない競争	❸	❹

❶ ❷ ❸ ❹

（八束澄子「ぼくらの山の学校」より）

注 ＊集落＝家が集まっているところ。ここでは、地元の村里のこと。

30　25　20

ア　元さん
イ　沙也のママ
ウ　「ぼく」の父さん
エ　村上のばあちゃん

4 集落の人たちが見事に縄をなう様子を表している言葉を、文章中から十六字で書きぬきなさい。

5 沙也は、どれぐらいの間、ママとはなれていたと考えられますか。それが分かる言葉を文章中から四字で書きぬきなさい。

6 線④「ゆりは、女の子たちのお母さん的存在なのだ」とありますが、それは、ゆりが何をしていたことに表れていますか。文章中の言葉を使って書きなさい。

◆次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

15　10　5

1 線①「危険な動物からにげるために、あるいは、逆に食べられる小動物をつかまえるために走りはじめた」とありますが、このように走ることを、筆者はどのような走りだと表現していますか。文章中から十一字で書きぬきなさい。（記号は一字に数えません。）

2 線②「手紙や荷物などを運んだ『飛脚』、人をのせて人力で運んだ『かごや』といった仕事」は、どのような仕事の例として挙げられていますか。文章中から四字で書きぬきなさい。

3 線③「わたしたちが生きる現代社会では、人が走る理由は昔とくらべて大きく変化しました」とありますが、筆者は、現代のわたしたちはどのような理由で走るとのべていますか。文章中から十五字で書きぬきなさい。（記号も一字に数えます。）

（高野進「『走る』のなぞをさぐる」より）

30　25　20

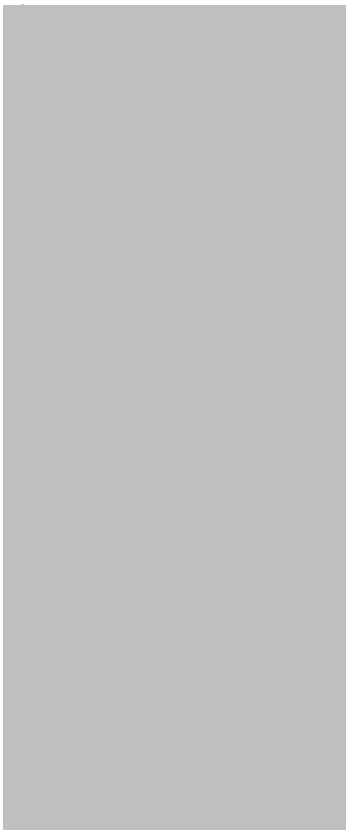
4 要約にチャレンジ！

この文章を、百字以内で要約しなさい。

問題の答え方

問題文の正しい読み取り方と適切な答え方をたしかめましょう。

1 答えの書き方①



5

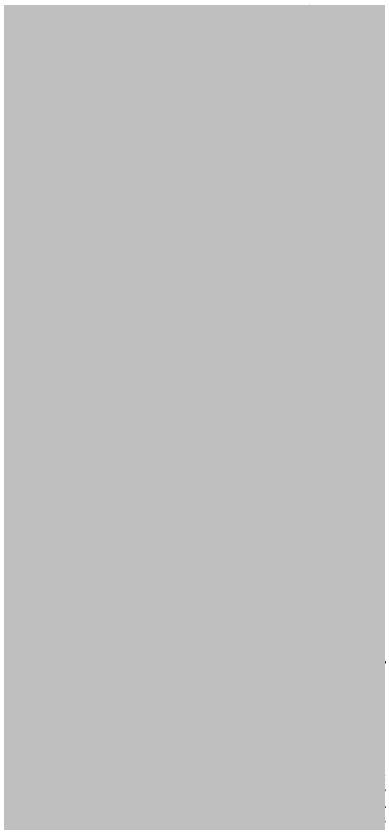
問題 ――線部「昔はよく作ったよ」とありますが、何を作ったのですか。文章中から書きぬきなさい。

（　　）

答え方 **答えは解答らんに書く**

問題の答えは、解答らんに書きます。「書きぬきなさい」という問題の場合、文章の中の表現をそのまま書き写しましょう。習っていない漢字があっても、ひらがなに直さず書きましょう。

2 答えの書き方②



（まはら三桃「日向丘中学校カウンセラー室」より）

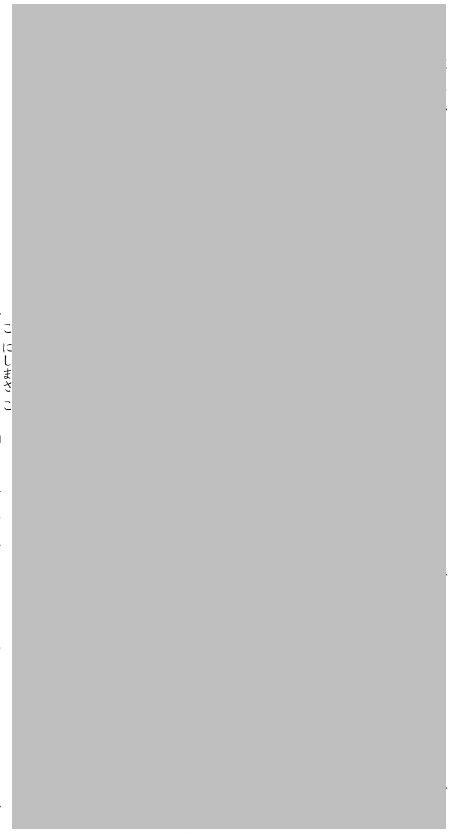
5

問題 ――線部「不思議な音」とは、茉莉が言った何という言葉を指していますか。文章中から十一字で書きぬきなさい。

答え方 **一マスに一字ずつ文字を書く**

解答らんのマスには、一字ずつ文字を書きましょう。小さい「っ」や「ゃ」「ゅ」「ょ」も一マス使います。また、答えは最初のマスから書き始めましょう。

3 字数の数え方①



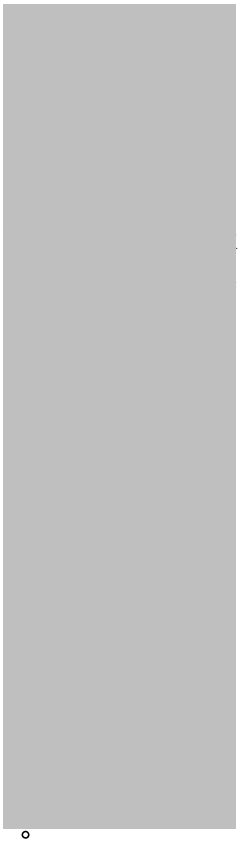
（小西雅子「地球温暖化を解決したい」より）

問題 ――線部「不自由な生活」とほぼ同じ意味を表している言葉を、文章中から十四字で書きぬきなさい。

答え方 **ぴったりの字数で答える**

「〇字で」という問題は、ぴったりの字数で答えましょう。たとえば「十四字で書きぬきなさい」という問題なら、十四字ちょうどの言葉を文章中からさがして書きましょう。

4 字数の数え方②



（安斉俊「池の水なぜぬくの？」より）

問題 水の中をただようプランクトンとよばれる生きもののうち、植物プランクトンとは、どのようなものをいいますか。「～もの。」に続くように十五字以内で書きぬきなさい。

もの。

答え方 **「〇字」までで答える**

「〇字以内で」という問題は、〇字をふくめ、〇字をこえない字数で答えましょう。たとえば、「十字以内」なら、八字くらいは書くようにしましょう。十字ちょうどで書いてもよいです。「、」や「。」や記号も一字に数えます。